

「アライグマシンポジウム in 飯能」

アライグマの早期発見と実態を知るための市民活動

堀井 達夫（トトロのふるさと基金調査部）

1. 爪痕調査をするに当たっては、外来生物の被害状況啓発などを目的に市民参加を呼び掛けるように努めた。具体的には

① 講演会

- ・ 2013年2月2日 「爪痕でアライグマを調べる」

[主催] 関西野生生物研究所

(講師) 川道美枝子氏、加藤卓也氏、金田正人氏

(場所) いきものふれあいの里センター

(参加者) 35名

- ・ 2013年6月2日 「爪痕でアライグマを調べる」

[主催] 関西野生生物研究所

(講師) 川道美枝子氏

(場所) 早稲田大学人間科学学術院三ヶ島&周辺の寺社

(参加者) 37名

② 講習会

- ・ 2013年7月27日 「アライグマ爪痕調査 講習会」

(講師) 関西野生生物研究所調査員 山本憲一氏

(場所) トトロのふるさと基金事務所クロスケの家&周辺の寺社

(参加者) 20名

- ・ 2013年10月14日 「爪痕調査方法と調査用紙への記入法」

(講師) 日本獣医生命科学大学 加藤卓也氏

(場所) トトロのふるさと基金事務所クロスケの家&周辺の寺社

(参加者) 12名

③ 参考新聞記事

- ・ 朝日新聞 2013年11月16日 「今さら聞けない」アライグマの野生化
添付記事コピー参照

資料7

2. トウキョウサンショウウオの食害



「アライグマに食べられたトウキョウサンショウウオ」

3. センサーカメラに映ったアライグマ



B 地区

4. 捕獲罾にて捕獲されたアライグマ



2013年 7月 25日 早稲田大学B地区湿地

5. 所沢市のアライグマ生息状況調査

- ・アライグマ爪痕調査記録用紙；別添参照
- ・アライグマの侵入状況（表）

年	合計	●	○	▲	△	□
2013年	138	15	7	26	44	41
%		11	5	19	32	30

- 現在侵入している
- 過去に侵入していた
- ▲侵入は無いが現在訪問痕跡がある
- △過去に訪問していた
- 痕跡が認められない

